

叱り方のコツ⑤ 感情的になるな、固執するな！

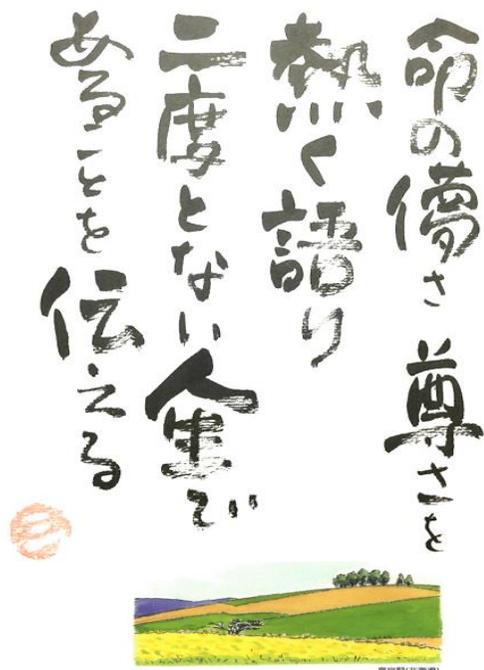
○理科の時間、先生が簡単な計算ミスをした。

・普段からいたずらの多い生徒が「あ、先生、違ってる」と大げさに指摘した。

・とたんに先生は怒り出し「揚げ足をとるな！」「俺が真剣になっているのが分からないのか！」「今何が大切だと思うんだ！」と、延々と1時間の説教。

○教師の気持ちに余裕やゆとりがないときは、最初の受け取り方にカチンとくるときもある。

○生徒の軽口、ちょっとした揚げ足とりには、さらりと受け流す度量が必要。



オギャとこの世に生まれたら、いつかは命はなくなります。儚いものです。人の夢とかいて、はかないと読みます。100歳まで生きる時代といわれている世代の今の子ども達。

命の儚さ 尊さを熱く語り 二度とない人生であることを伝える

何かのタイミングで伝えておきたいことのベスト1かもしれません。身内/親族/知人友人の人生のタイミングで 自分の命が大切なこと あなたの命が大切であることを伝えるチャンスにします。そして、その命はいつどこまで続くか誰にもわからないこと それ故 儚いこと だからこそ 二度とない今を大切にしてほしいこと・・・それが伝えられるチャンスを待ってください。

いつか必ず来ます。そんな体感が人には重要です。それは、人にかかわらず、今一緒に生活している動物についても同じです。命あるものすべてに通じる考え方です。

そのタイミングがずれたり、それを伝える人によっても、とらえ方がかなり違います。心というのは、こんなタイミングで成長するものです。私は、私と妻の両親とも他界しています。そして、姉も他界しています。

この命の授業/学びは、自立活動の大切なひとつだと感じています。



親は、人生をがんばって進む姿を、私たちより先に歩いて見せてくれている。

歳をとり、弱っていく親の姿をみるのが切ないと友人に話したら、「そんな姿を見せてくれる親を尊敬！」と言って、私を励ましてくれました。